

日本に帰国する際の当地での乗り継ぎにかかる情報

<入国制限>

・当地入管当局によれば、有効な査証か ESTA を有し CDC（米国疾病予防管理センター）の入国制限対象国・地域に過去 14 日以内に滞在していなければ、外国人の乗り継ぎに制限はかかっていません。なお、CDC は現在、日本を含む全世界（入国制限対象国・地域を除く）をレベル 3（不要な渡航延期勧告）に引き上げており、米国に入国する場合は、14 日間は健康状態を監視し、ソーシャル・ディスタンスを保つための行動をとることを求めています。

<航空便>

・日系航空会社（JAL, ANA）のフライトは、運休・減便がありますが、毎日、ロサンゼルス国際空港から日本への直行便が航行中です。

・その他の航空会社の日本への直行便は運休しています。

・最新情報は、各社のプレスリリースにてご確認ください。

<宿泊>

・現時点では新規宿泊予定者は受け付けるべきではないといった（州・郡・市の）命令は発出されておらず、当地日系のホテルの営業部門の情報によれば、オペレーションの縮小はしているものの（レストランは全て限定メニューによるテイクアウトのみ、フィットネス、ルームサービス等はクローズ等）、フロントデスクは変わらず 24 時間営業しており、宿泊も通常通りメール・電話・オンラインで予約可能です。

・空港周辺のホテルも、オンラインや電話で予約可能です。また、空港・ホテル間のシャトルバス・サービスを行っているホテルによれば、現在も運行中とのことですが

・詳細は、宿泊先ホテルにご確認ください。

<タクシーやライドシェア（Uber, Lyft 等）>

・公共交通機関は運行しており、ライドシェア・アプリで検索する限り、空港からの移動でも予約可能です。

<その他留意事項>

・カリフォルニア州では州全体に対して自宅待機命令（STAY AT HOME）、ロサンゼルス郡においては、不要不急の外出を控える緊急命令（SAFER AT HOME）が発出されておりますので、乗り継ぎによる滞在中は、不要不急の外出を控えるようお願いいたします。

・また、人と人の距離を 6 フィート（約 1.8m）保つよう指導されています。

・5 月 11 日より、ロサンゼルス市長命令によりロサンゼルス国際空港の利用者、LADOT のバスや Metro のバス・電車の利用者はフェイスカバーの着用が求められます。また、フ

フェイスカバーを着用していない場合、市内での必要不可欠な各種サービス（買物他）を受けられない場合があります。「フェイスカバー」とは市販マスク、あるいは、鼻と口を覆える大きめの布（バンダナ等）での代用が可能です。

・市内レストランはテイクアウトやデリバリーのみで店内での飲食はできません。営業時間が変更となっている場合がありますので事前にお問い合わせください。ホテル内レストランも同様の措置を取っており、ルームサービスも停止している場合がありますので、詳細情報が必要な場合は予め宿泊先ホテルにご確認ください。